

News Release



(別添)

2022年5月26日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中 部 支 所

正しい乗り方を確認 電動アシスト自転車 ～ 東海4県版 ～

NITE (ナイト) が収集した電動アシスト自転車の事故情報^{※1}は、東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では、2017年度～2021年度までの5年間に合計13件あり、被害状況は重傷7件(53.8%)、拡大被害2件(15.4%)、製品破損4件(30.8%)となっています。そのうち1件(7.7%)が火災に至っています。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

1. 電動アシスト自転車の製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1に電動アシスト自転車の製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 電動アシスト自転車の「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)^{※2}

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	総計
2017年度	0	0	0	0	0
2018年度	1	0	1	0	2
2019年度	0	3	0	0	3
2020年度	3	3	0	0	6
2021年度	0	2 (1)	0	0	2 (1)
合計	4	8 (1)	1	0	13 (1)

(※2) ()は火災件数。

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 に電動アシスト自転車の製品事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表 2 電動アシスト自転車の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）※2

被害状況※3		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	3	4	0	0	7
	軽傷	0	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	1	1	0	0	2
	製品破損	0	3 (1)	1	0	4 (1)
被害なし		0	0	0	0	0
合計		4	8 (1)	1	0	13 (1)

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 東海 4 県の年度別 事故発生件数

表 3 に電動アシスト自転車の製品事故の「県別」及び「年代別」の事故発生件数を示します。

表 3 電動アシスト自転車の「県別」及び「年代別」の事故発生件数（単位：件）※2

年代	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	総計
60 歳代	1	2	0	0	3
70 歳代	1	5 (1)	0	0	6 (1)
80 歳代以上	0	1	0	0	1
不明	2	0	1	0	3
合計	4	8 (1)	1	0	13 (1)

(4) 東海 4 県の年度別 事故発生件数

表 4 電動アシスト自転車の製品事故の「年代別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表 4 電動アシスト自転車の「年代別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）※2

被害状況※3		60 歳代	70 歳代	80歳代以上	不明	総計
人的被害	重傷	3	2	1	1	7
物的被害	拡大被害	0	1	0	1	2
	製品破損	0	3 (1)	0	1	4 (1)
合計		3	6 (1)	1	3	13 (1)

2. 電動アシスト自転車の製品事故の事故事例

(1) 2019 年 7 月（愛知県、70 歳代・女性、重傷）

【事故内容】

使用者が電動アシスト自転車で走行中、ハンドルがロックし、転倒、右足を負傷した。

【事故原因】

電動アシスト自転車は、ハンドルがロックされた状態で過大な力が加わると使用者に異常を知らせるためにハンドルロックのケースを意図的に破損させる設計であったが、ケースが破損すると内部のロックレバーの動きをガイドする溝が広がってロックレバーがカムから外れ、振動等でロックレバーが動いて意図せずロックが掛かる危険性に対して、技術的な保護対策が講じられていなかったため、ハンドルロックのケースが破損していた状態で走行した際に突然ハンドルがロックしたものと考えられる。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】ハンドル、ロック、レバー、破損

事故品・事例を確認

一般消費者用検索ツール「SAFE-Lite」のご紹介

NITEはホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite（セーフ・ライト）」のサービスを行っております。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>

3. 電動アシスト自転車の製品事故の実験映像等について

電動アシスト自転車の製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「NITE（ナイト）・中部支所」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 浅井 幹夫

担当者：横田 勝、横山

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902、携帯：080-3736-7515